

# 東京都北区新型インフルエンザ等対策行動計画（案）のパブリックコメント実施結果

## 1. パブリックコメントの実施概要

- (1) 意見の募集期間：令和7年10月1日（水）から令和7年10月31日（金）
- (2) 周知方法：北区ニュース（10月1日号）、北区公式ホームページ、北区公式SNS（Facebook、X）  
北区公式YouTubeチャンネル
- (3) 閲覧場所：北区公式ホームページ、区政資料室、各地域振興室、各区立図書館  
北区保健所生活衛生課生活衛生係（2階1番窓口）
- (4) 意見の提出者：2名（内訳）ホームページ：2名、持参：0名、郵送：0名、ファクス：0名
- (5) 提出された意見総数：2件

## 2. 提出された意見等の概要とそれに対する区の考え方

### ・意見の内訳

- (1) 第1部 基本的な考え方 ： 0件
- (2) 第2部 各対策項目の考え方及び取り組み ： 1件
- (3) 第3部 区政機能を維持するための区の危機管理体制 ： 0件
- (4) その他 ： 1件

(2) 第2部 各対策項目の考え方及び取り組み

No.	意見等の概要	件数	意見に対する区の考え方
1	<p>第7章 ワクチンについて</p> <p>コロナワクチン接種は、当初、感染予防と言い 次は重症化予防と言いかえ、挙句の果てに効果はなかったと分科会の役員が言い出している。厚労省の発表では、コロナワクチン接種による死亡者は2千人を超え、副反応による救済制度認定者も相当数にのぼっており、薬害だと感じる。メーカーであるファイザーやモデルナは予防効果を否定しているが、厚労省は把握していない。コロナワクチンはMRNAと呼ばれる遺伝子組み換え製剤であるが、「ワクチン」と名前をつけたために本来行うべき多くの検査をせずに承認され、安全性は確保されていない。今年から定期接種にしようとしているインフルエンザワクチンもmRNAというものに変わり、さらにレプリコン（自己増殖型遺伝子組み換え製剤）に変わっている。治験段階で死者が出ているのにもかかわらず、臨床に導入するのは正気の沙汰とは思えない。ワクチン接種よりも日常生活の中での食事を見直すことに力を注ぎ、自己免疫力を高める食材や献立、生活習慣などを広く積極的にアピールして欲しい。ワクチン後遺症に苦しむ人達に救いの手を差し伸べて欲しい。人の『命』をもっと大切に扱って欲しい。</p>	1	<p>貴重なご意見をありがとうございます。</p> <p>新型コロナワクチンについては、有効性や安全性が確認された上で薬事承認されており、さらに、国内外で実施された研究などにより、新型コロナウイルス感染症にかかった場合の入院や死亡等の重症化等を予防する重症化予防効果が認められたと報告されています。また、日本では、ワクチンの安全性を確認するため、ワクチン接種後に生じた症状について継続的に情報収集を行っており（副反応疑い報告制度）、収集した情報について、国の審議会（副反応検討部会）で報告し、定期接種として広く皆さまに接種していただく上で安全性に問題がないかを専門家が評価しています。</p> <p>区では、引き続き、ワクチンに関する最新の情報の収集と区民の皆さまへのわかりやすい情報提供に努めてまいります。</p>

(4) その他

No.	意見等の概要	件数	意見に対する区の考え方
2	<p>生成ai活用の時代に、計画が長すぎて何を伝えたいのかわからない。</p>	1	<p>貴重なご意見をありがとうございます。本計画（案）は、国と東京都と整合性を保つため詳細を記載していますが、より簡潔で分かりやすい内容になるよう引き続き表現方法や構成の工夫を検討してまいります。</p>